



(上) 将来はやきものの資料を全国からも集め、美濃焼の発展にふさわしい資料館にしようと、情熱を傾けて、来館者に説明される古川庄作氏 (写真左の人)

(右) 岐阜県陶磁器陳列館正面入口。

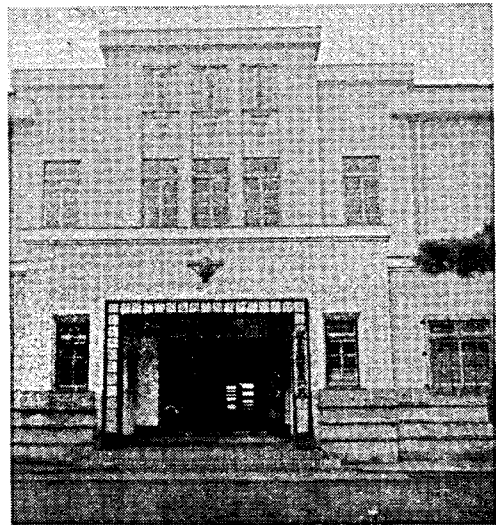
館・園 紹 介 No 10

岐阜県陶磁器陳列館

多治見市陶元町 135

〒507 TEL 0572-23-1191

“美濃焼の歩み” 一目で!



長い間、美濃焼の技術開発の殿堂であった岐阜県陶磁器試験場が、規模を大きくした新たな構想のもと、2Kmほど離れた星ヶ台へ移築された。この試験場の移転に際し、土地を提供された多治見市の故斎藤武氏の好意と、長く試験場にお勤めになり、美濃陶器美術品を研究されている古川庄作氏らの熱意により、元試験場の敷地及び建物の一部が改築され、誕生したのが、この岐阜県陶磁器陳列館である。外観は元のまゝであるが、木造建物に防火・盗難に万全を期す改装が行なわれ、玄関を入ると、廊下、二階への階段は真赤なジュウタンが敷きつめられ、足音を消したとても落ち着いた美術館となっている。展示室内は、ベージュ色の厚いジュウタンが敷きつめられ、やきものや陶片の数々をじっくり観賞するのに適した雰囲気をかもし出している。

中央高速自動車道の開発による発掘事業で収集された平安灰陶250点をはじめ、桃山時代から江戸初期にかけての美濃古陶750点、幕末から明治初期にかけてのもの350点、さらには、縄文・弥生時代・須恵古墳時代の参考品、昭和初期・現代の作品までが展示され、まさに、美濃焼の遠い過去から今日の姿までを、静かにもう一度ふりかえることのできる、“土と火”に生きる東濃ならではの施設である。古い過ぎ去った時代の陶磁器ばかりでなく、デザインコンクールなど、現代の各種コンクールの入賞作品等も陳列されており、また未整理の過去・現代の陶磁器も実に多い。しかし、地

元多治見市を中心に、土岐市、瑞浪市、笠原町の協力を得て財団法人組織として去年の8月14日に発足したばかりで、陳列館自身の完蔵品がほとんどない現状である。郷土多治見市大畑にお住みの荒川豊蔵氏の作品も、現在10点が特別展示され、1～2月間は公開されているけれども、これも所有者のご好意により借り受けて展示されているものである。世界に誇り得る郷土の美濃焼の殿堂として、岐阜県及び関係市町が、一日も早く、より多くの資料を公費で購入され、市民の、県民の、いや国民の宝として、末長く永久に保存管理されることが望まれる。

また、古川庄作氏のお話を伺っていると、明治時代のものは、比較的現代に近いといっているので、世間大衆からも、その真価が認められていないとのこと。しかし、そこにも、血の流れるような先人の苦労と努力の歴史が波うっているとのこと。道路開発その他によって、埋もれていた窯跡が次々と消えていく今こそ、この陳列館は、十分な研究費をもって、純粋な学術的発掘事業を行なうとともに、資料を収集し、ただの陳列館に終わることなく、研究・教育活動の盛んな博物館へと育て上げてもらいたいものである。

開館時間、午前10時～午後4時、 入場無料、 休館 毎週月曜日、祝祭日の翌日。

機械化が進み、人情が薄れ、身のまわりの日用品には、おびたしい合成樹脂製品があふれ、何やら寒々と文明砂漠化してきた味けない今日の社会に生きるわたしたち、一日ゆっくり美濃焼を見つめてみるのもいいものです。長い長い年月を通して培われ、育てられてきた生活の知恵とその実技の歴史、やきものが生まれるための原点は何であったのか？ぜひ一度、お出かけ下さって、伝統的な工芸美術を通して、人間をみつめなおしてもらいたいものです。 (写真・文 小野木学芸員)

あけまして おめでとうございます！！

岐阜県博物館協会

会長	上松陽助 (岐阜市立博物館施設責任者) (岐阜市長)
副会長	名和正男 (名和昆虫博物館長) 平田吉郎 (高山市立博物館施設責任者) (高山市助役)
理事長	郷 浩 (岐阜城館長)
理事	白木孝一 (白木菊花石館長)
"	田中敏夫 (岐阜市立児童科学館業務係長)
"	日比 武 (大垣城)
"	武藤隆一 (奥美濃郷土館長)
"	古川庄作 (岐阜県陶磁器陳列館長)
"	長倉三郎 (高山市立民俗館名誉館長)
"	川上克彦 (下呂温泉合掌村責任者) (商工観光課長)
顧問	江口三五 (岐阜県文化団体協議会会長) (岐阜県ユネスコ協会会長)
"	広瀬 鎮 (日本モンキーセンター学芸部長)
事務局長	吉田幸平 (濃飛甲冑研究所長, 学芸員)
岐阜の博物館編集委員	宮崎 惇 (岐阜市立長森中学校教諭) (学芸員)
	小野木三郎 (各務原市立稲羽中学校教諭) (学芸員)

昭和47年度

東海博物館協議会総会は本県で！！

神奈川、山梨、静岡、愛知、岐阜各県の博物館及びその類似施設等で結成されている東海博物館協議会の総会が、本年度は、来る9月9日10日に、郡上郡明方村、明方村博物館を中心に開催される予定です。9日に寒水掛踊見学、総会後、畑佐山の家泊。10日は郡上八幡の諸施設見学が計画されています。県下からも多数参加いただきますよう、よろしく願い致します。

≡ 短 信 ≡

名和昆虫博物館

毎年特別展に、海外の昆虫取材・視察にと、精力的にご活躍の名和昆虫博物館では、今春3月下旬より「すばらしい自然とこん虫展」を開催されます。多数ご観覧下さるとともに、貴館園の参考になることも多いと思います。ぜひお出かけ下さい。館長名和正男氏は、マレーシア、バリ島、台湾等への取材旅行準備中。また博物館として、友の会の結成も企画中、みなさん方のご支援をお願い致します。

岐阜県博物館基本構想案発表さる

— 県内博物館施設と連携する中央博物館と明記 —

＝ 編集部 ＝

昨年12月22日、置県百年を迎えた岐阜県はその式典をあげ、記念事業のひとつとして関市山田に、98ヘクタールの百年公園をもうけ、その中に岐阜県博物館を建設する旨正式に発表した。ここにその概要をお伝えする。

1. 目的

本県の人文・自然兩分野にわたる諸資料を公開し、あわせて教育普及活動を行なうことにより、広く県民の学習の場となり、また文化財保護の精神の涵養に役立て、新しい教養と文化の発展に寄与することを目的とする。

2. 性格

(1)本県の人文(考古・歴史・民俗・伝統工芸)自然(動植物・地質)等に関する諸資料を収集、保管、展示、調査研究し、人文自然文化財等が破壊されたり、県外に流出しないよう保存、管理し、あわせてその活用をはかる総合的な施設とする。

(2)館内外の諸資料、諸施設の活用方法に工夫を加え、学校教育、社会教育との密接な連携をはかり、利用者が楽しく学習でき、未来への探究心と創造性を開発させるような施設とする。

(3)県内の博物館および類似施設と常に連携をとり、資料の交換、提供および諸行事の開催等を助長しつゝ、本県の中央博物館としての役割をはたす内容と設備を有する施設とする。

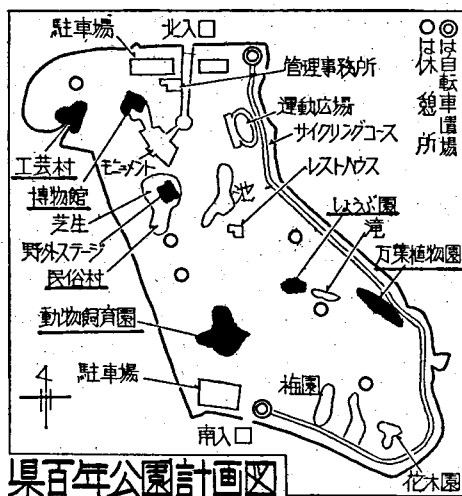
(4)資料の保存および活用について、専門的な調査研究をするに必要な設備と学芸員を有する施設とする。

3. 資料収集計画

(1)県内の人文・自然諸資料を収集 (2)実物を中心とするが、必要に応じて厳密な考証にもとずく復元模型等を含む。(3)寄贈・寄託・借用・購入等によって収集。

4. 展示計画

(1)常設展示と特別展示とし、常設展示は屋内と屋外の二種 (2)屋内展示は、総合展示と課題展示 ①総合展示は本県の自然環境の概要と本県の歴史の発展の概要を理解しやすく展示。 ②本県のすぐれた自然環境および特色ある伝統工芸、仏教美術、考古に関する資料を展示。特



※黒ぬりの部分が、岐阜県博物館とその関連の諸施設計画案です。

に前者においては、人間生活との関係を正しくとらえながら、自然保護の重要性を認識するとともに、今後のあり方を探究できるよう工夫し、後者においては、それらを生み出した社会環境の中に正しく位置づけるよう配慮して展示。

(3)屋外展示は、特定のテーマによる自然および人文関係を展示し、百年記念公園全体の中に教育的に配置し、屋内展示と有機的に関連させる。

5. 事業内容(略)

6. 建設計画

昭和46年度に基本設計完了、資料収集計画、47年度に実施計画、48年度工事着手、資料収集、49年度動物飼育園、50年度本館工事完成。一部開館、民俗村、工芸村、万葉植物園、秋完成の予定。本館の建物延面積約8,800㎡、地下1階、地上2階(これは編者記入)、建設費概算約14億円。

7. 組織および職員

管理課、学芸課の2課制とし、館長、課長、学芸員、技師、主事その他、総計30~40名の予定。

ソビエトの博物館（2）

岐阜県博物館協会事務局長、文学博士 吉田幸平

女帝の功績を顕彰したもののひとつに、レニングラードの「エルミタージュ国立美術博物館」がある。正面入口は、ネヴァ川に面しており、エルミタージュとはフランス語で「離れ家」を意味している。二百万点に及ぶ膨大なコレクションは、ロシアの女帝エカテリーナ二世によって、1860年代から始められたものである。彼女は、ドイツ



リトワニア・ビリニウス、ダイレス・パロード郷土美術館

人であったが、ビョートル大帝に心酔し「青銅の騎士像」をつくったといわれている。そして西欧各国の主要人物とも親交を結び、世界に誇る大美術品を集めた。もちろん規模も大きく、大英博物館と並び称せられるものである。美術館は、旧エルミタージュ、新エルミタージュ、小エルミタージュ、エルミタージュ劇場、冬宮の五つの建物にわかれていて、各建物は短い廊下でつながれている。建物の廊下の総距離数は、30 Kmにも及びとても一日では見ることが不可能である。

美術館は一階から三階まであり、一般的に日本人向けするのは、第一部（二階）のロシア文化と第六部（二階、三階）の西ヨーロッパ芸術であろうと思われた。

中に入るのには、延々長蛇の列で、一時間も待たされるくらいで、実に多くの入場者があり、まるで日本のプロ野球特別興業なみである。どの博物館も、実に多くの人々が訪れているのには驚いたし、またその解説員の若い女性の勢力的な態度にも驚いてしまった。文化国家とはいいながらも、こうした博物館に関する一面だけを比較しても、まだまだ日本は、1世紀も2世紀も後進国であることが、身にしみて知らされる思いであった。また、バルト三国（リトワニア・ラトビア・エストニア）などの首都の小さ

な街でも、立派な博物館や美術館が数多くあり、社会教育という点では、こういった館の数や、見学人口、研究員等の構成などからしても、今後日本は、おおいに研鑽する必要がある。郷土岐阜県内にも、数多くのそうした公共施設・機関を早急に設立する必要があることを痛感した。

ソ連の博物館は、資本主義国ではあまり知られていないが、その展示方法も、社会教育として、ひとつの方向を示しているようであるが、詳細はまたの機会に報告することにする。

最後に、参考までに、主要館の職員数及び研究員（学芸員）数をお知らせします。

館名	職員	研究員
モスクワ国立民芸研究付属博物館	7人	4人
イルクーツ地方芸術美術館	26人	6人
モスクワ国立東洋美術館	60人	15人
シベリヤ州科学アカデミー 陸水研究所附属ノイカル湖博物館	200人	87人
イルクーツ地方郷土博物館	35人	10人
ハバロスク地方郷土博物館	30人	8人
リトワニア・ビリニウス郷土博物館	90人	10人
オルジョニキーゼ博物館		12人
モスクワ・オスタンキノ宮殿博物館		12人

（吉田展子調） — 終 —

岐阜県の博物館施設一覧表

昭和47年1月現在
岐阜県博物館協会

番号	名 称	所 在 地	電 話
A	(歴 史)		
A 1	神岡町郷土館 (神岡城・鉾山資料館)	吉城郡神岡町城ヶ丘 1	(〒506-11) <0578> 2-0253
A 2	高山市郷土館 ※※	高山市上一之町 75	(〒 506) <0577>32-1205
A 3	福来(ふくらい)博士記念館	高山市城山公園内	(〒 506) <0577>32-2052
A 4	赤保木の堅穴住居跡と展示室	高山市赤保木町	(〒 506) <0577>32-9911呼
A 5	金山町郷土館	益田郡金山町金山	(〒509-16) <05763>2-2201呼
A 6	中津川記念郷土館	中津川市本町 2丁目	(〒 508) <05736>6-1308
A 7	八幡城	郡上郡八幡町柳町一の平	(〒501-42) <05756>5-2121呼
A 8	蘇原公民館郷土室	各務原市蘇原町支所内	(〒 504) <0583>82-4339
A 9	炉畑遺跡公園	各務原市桜町 1 市役所社会教育課	(〒 504) <0583>83-1111
A10	航空自衛隊岐阜基地 広報館	各務原市那加町	(〒 504) <0583>82-1101
A11	岐阜城	岐阜市金華山頂	(〒 500) <0582>63-4853
A12	濃飛甲冑研究所 展示室	岐阜市岩戸花月町 2の1	(〒 500) <0582>45-3947
A13	岐阜大学郷土博物館 ※※	岐阜市長良城之内	(〒 500) <0582>31-4161呼
A14	森田草平記念館	岐阜市鷺山・草平町	(〒 500) <0582>32-2147
A15	陸上自衛隊岐阜駐屯地史料館	岐阜市加納丸の内 11	(〒 500) <0582>71-4155
A16	谷合公民館郷土室	山県郡美山町谷合	(〒501-23) <058106>2050呼
A17	小川栄コレクション展示室	揖斐郡大野町大衣斐	(〒501-05)
A18	片野記念館	安八郡輪之内町四郷	(〒503-02)
A19	揖斐川町郷土資料館	揖斐郡揖斐川町三輪	(〒501-06) <05852>2-2111
A20	梁川星巖記念館	大垣市曾根町 772・華溪寺内	(〒 503) <0584>81-7535
A21	大垣城	大垣市廓町 2丁目	(〒 503) <0584>78-7907
A22	美濃国分寺考古館	大垣市赤坂町青野	(〒 503) <0584>71-0297
A23	養老公園孝子館	養老郡養老町・養老公園内	(〒503-13) <05843>2-0501呼
A24	関ヶ原町立郷土館	不破郡関ヶ原町関ヶ原 3132	(〒503-15) <05844>2-1288
A25	関ヶ原ウォーランド	不破郡関ヶ原町関ヶ原 2087	(〒503-15) <05844>2-0302
A26	関ヶ原縄文遺跡考古館	不破郡関ヶ原町小関	(〒503-15)

脚註 ※印は博物館法にもとづいて登録された「博物館」。 ※※印は同法による「博物館相当施設」。このほかに、この表のような博物館的施設がございましたら、岐阜県博物館協会までお知らせください。

番号	名 称	所 在 地	電 話
B	(民 俗)		
B 1	上 宝 村 民 俗 館	吉城郡上宝村平湯	(〒506-13) <05786> 111呼
B 2	平 湯 民 俗 館	吉城郡上宝村平湯	(〒506-13) <05786> 66呼
B 3	飛 驒 集 古 館	大野郡丹生川村坊方	(〒506-21) <057706>131呼
B 4	高山屋台(やたい)会館	高山市桜町八幡神社内	(〒 506) <0577>32-5100
B 5	飛驒民俗村(民俗館※※ ・山岳資料館・飛驒の里)	高山市西之一色町	(〒 506) <0577>33-4714
B 6	下 呂 温 泉 合 掌 村	益田郡下呂町森字柿ヶ平	(〒509-22) <05762>5-2239
B 7	飛 山 民 俗 館	益田郡金山町本町	(〒509-16) <05763>2-2080
B 8	白 川 郷 民 俗 館	大野郡白川村御母衣	(〒501-55) <御母衣局> 62
B 9	明 善 寺 庫 裡 郷 土 館	大野郡白川村萩町 676	(〒501-56) <鳩谷> 9
B10	白 川 郷 合 掌 村	大野郡白川村萩町	(〒501-56) <鳩谷>代理 1
B11	下 野 郷 土 館	恵那郡福岡村下野小学校内	(〒508-02) <0573604> 54呼
B12	串 原 村 郷 土 館	恵那郡串原村大野	(〒509-78) <057352>1呼
B13	明 方 村 博 物 館	郡上郡明方村三間手・中学校内	(〒501-43) <0575605>13呼
B14	那 比 新 宮 宝 物 庫	郡上郡八幡町那比	(〒501-42) <05756>6-9274呼
B15	奥 美 濃 郷 土 館	郡上郡八幡町一の平 483	(〒501-42) <05756>5-3916
B16	郡 上 染 織 資 料 館	郡上郡八幡町初音	(〒501-42) <05756>5-3815
B17	奥美濃おもだか家民芸館	郡上郡八幡町新町 930	(〒501-42) <05756>5-3332
B18	洞 戸 村 民 俗 資 料 館	武儀郡洞戸村元寺・小学校内	(〒501-28) <058166>24呼
B19	美 山 民 俗 資 料 館	山県郡美山町北山・今嶋	(〒501-24) <05815>5-2681
B20	鵜 飼 民 俗 資 料 展 示 室	岐阜市港町鵜飼銅鏡覧船事務所内	(〒 500) <0582>62-0104
C	(美 術)		
C 1	寺 宝 館	吉城郡神岡町本町・洞雲寺	(〒506-11) <0578> 2-1210
C 2	石 の 博 物 館	大野郡丹生川村旗鉾	(〒506-22) <057707>6呼
C 3	日下部(くさかべ)民芸館	高山市大新町 1	(〒 506) <0578>32-0072
C 4	平 田 記 念 館	高山市上二之町	(〒 506) <0577>33-1354
C 5	八 賀 民 俗 美 術 館	高山市下三之町	(〒 506) <0577>32-1238
C 6	青 邨(せいそん)記念館	中津川市苗木 2871の12	(〒508-01) <05736>5-4131呼
C 7	祐教コレクション付知峽博物館	恵那郡付知町下浦	(〒508-03) <0573603>284呼
C 8	若 宮 修 古 館	郡上郡白鳥町長滝 138	(〒501-51) <057598>23呼
C 9	多 治 見 市 陶 器 陳 列 室	多治見市新町 1丁目 市民センター内	(〒 507) <0572>22-0165
C10	岐 阜 県 陶 磁 器 陳 列 館	多治見市陶元町 135	(〒 507) <0572>23-1191
C11	元屋敷陶器窯跡出土品収蔵庫	土岐市泉町久尻下窯	(〒509-51)

C12	菊 花 石 館	岐阜市長良福光中町 2616	(〒 500)	<0582>32-3032
C13	日 本 愛 石 館	揖斐郡揖斐川町昭和町	(〒501-06)	<05852>2-0377
D	(自然科学)			
D 1	ひだ福地自然館 (民俗資料館をふくむ)	吉城郡上宝村福地・飛騨路内	(〒506-14)	<05787> 138呼
D 2	長島氏鉱物コレクション展示室	中津川市苗木・公民館内	(〒508-01)	<05736>6-1328
D 3	長島 コレクション 陳列所	恵那郡蛭川村奥渡・ 蛭川郷土館内	(〒509-83)	<05732>5-3245
D 4	後藤植物研究所 標本室	関市白金 60の2	(〒501-32)	<05732>5-3245
D 5	く す り 資 料 館 (薬草園を含む)	羽島郡川島町松倉	(〒 483)	<058689> 3111
D 6	名和昆虫博物館	岐阜市大宮町2・岐阜公園内	(〒 500)	<0582>63-0038
D 7	岐阜市児童科学館※	岐阜市小椎谷・岐阜公園内	(〒 500)	<0582>63-0290
D 8	岐阜プラネタリウム	岐阜市鶯谷 4695	(〒 500)	<0582>65-0231
D 9	岐阜天文台	羽島郡柳津町高桑・藤ノ木	(〒501-61)	<0582>79-1353
D10	浅見化石コレクション化石会館	岐阜市長良・高見 2	(〒 500)	<0582>31-3997
D11	自然保護資料室	岐阜市西部町・更屋敷 岐阜県自然保護協会事務所	(〒 500)	<0582>72-2702
D12	教育資料館	関市下有知	(〒501-32)	<05752>2-4490
D13	大垣市児童文化センター	大垣市東外側町 2の35	(〒 503)	<0584>78-2564
D14	金生山化石館	大垣市赤坂町金生山 産業会館内	(〒 503)	<0584>71-0294
E	(動植物園・水族館)			
E 1	あけ世温泉自然苑野鳥園	瑞浪市明世町月吉	(〒509-61)	<0572>68-4036
E 2	岐阜大学農学部 附属植物園	各務原市那加雲雀町	(〒 504)	<0583>82-1201
E 3	岐阜公園鳥類センター	岐阜市大宮町・岐阜公園内	(〒 500)	<0582>62-3951
E 4	岐阜公園水族館	岐阜市大宮町・岐阜公園内	(〒 500)	<0582>62-3951
E 5	金華山リス村	岐阜市金華山頂	(〒 500)	<0582>62-4928呼
E 6	岐阜薬科大学附属薬草園	岐阜市三田洞 岐阜市立薬科大学内	(〒501-21)	<0582>37-3931
E 7	谷汲植物園	揖斐郡谷汲村徳積 谷汲駅内	(〒501-13)	<058562> 30呼
E 8	竹類見本園	養老郡養老町・養老公園内	(〒503-13)	<05843>2-0501
E 9	関ヶ原大爬虫類センター	不破郡関ヶ原町玉	(〒503-15)	<05844>2-1100
F	(岩石園・鐘乳洞)			
F 1	飛騨大鐘乳洞	大野郡丹生川村日面	(〒506-22)	<057707> 6呼
F 2	郡上八幡大鐘乳洞 (熊石洞を含む)	郡上郡八幡町美山	(〒501-44)	<0575603> 17呼
F 3	大滝鐘乳洞	郡上郡八幡町安久田・大棟	(〒501-42)	<05756>5-3950
F 4	縄文洞	郡上郡八幡町東安久田	(〒501-42)	<05756>5-5062
F 5	油石洞	郡上郡八幡町入間	(〒501-44)	<0575603>605呼
F 6	関ヶ原洞	不破郡関ヶ原町玉	(〒503-15)	<058404> 92呼

揖斐川町郷土資料館誕生

新庁舎完成にともない、旧役場建物を改造して、その2階180㎡に、町内の資料や物産を展示し、今春の4月に開館の予定。今後、動植物・地質地史等の自然環境資料をも充実させ、郷土の姿を自然・人文両面から総合的に眺められる、郷土博物館への発展が望まれます。

〒501-06 揖斐郡揖斐川町三輪
TEL<05852>2-2111

美山民俗資料館オープン

横関一郎氏が、自宅に収集した生活文化財を展示して、少しでも村の生活のよさやうるおいを知らせようとしているもの。

〒501-24 山県郡美山町北山・今嶋
横関一郎様方 TEL<05815>5-2681

爬虫類センター関ヶ原に

昨年10月30日、約150匹の爬虫類を主とする動物を展示してオープンした。めずらしさとおそろしさを、科学的興味へ昇華させたいという希望がこめられており、冬は隣りのスケートリンクへ来る客がよく入場する。

〒503-15 不破郡関ヶ原町玉
TEL<05844>2-1100~2

昨年一年間、本誌の発行については、菊化石館長 白木孝一氏 のご援助を得ることが大でした。ここに謹んでお礼申し上げます。

編集後記 ◎いよいよ岐阜県博物館が、本県の中央博物館としての役割を背負って、躍動し始めました。各種建設計画、諸資料の収集等については、県内の各館園、諸施設のご助力・援助が必要です。ご尽力をお願い致します。他県に類をみないユニークなものにしたいものです。県で発表された基本構想案をお読みのうえ、事務局までどんどんご意見を

下呂温泉峰一合遺跡公園に 「考古館」四月にオープン

益田郡下呂町森地内の峰一合遺跡公園は、過去4年間にわたって発掘調査が続けられた結果として、五基の堅穴式住居が復元されているもので、この公園整備計画の最後として、今考古館が建設中。2階建て延べ740㎡、一階は、同遺跡から出土した石器・土器の展示、映写室も整え、おとなからこどもまでの考古学教室が開かれるよう計画され、2階は、生活器具、民俗資料等を年代順に陳列する予定。

『岐阜県博物館』建設に要望書提出!!

当岐博協では、昨年中に、百年事業として決定、構想案の発表をみた岐阜県博物館建設について、未来に生きて働き、明日を創造する博物館づくりのために、当協会の意見もじゅうぶんとりあげていただくよう独自で要望するとともに、岐阜県自然環境保全連合との連名のもとに、記念公園全域を自然史博物館学的に計画していただくこと、特に岐阜県博物館の性格からしても、当協会の事務局が置けるように計画され、県下各施設の中核機関としての役割を持たせることを要望致しました。県立の博物館に、民間団体の事務局は難しいとのことですが、日博協は、国立博物館内に部屋を持っているのですし、博物館は社会教育機関として育っていかなければならないことを思うと、これは当然のことです。岐阜県博物館をよりよいものにしていくために、今後も、当協会は最大の援助をしていきたいものです。

＝ 編集部 ＝

お寄せ下さい。とりまとめて要望致します。
◎資金難で難産続きの本誌も、またまた用紙の質を上げ一層の発展を期すことになりました。昭和47年度会費、至急送金下さい。振替名古屋28716、公立1500円、私立1000円、個人300円です。
◎あいさつが遅れました。新年、おめでとーございます。爽り多き年でありますように。

(小野木学芸員)